

5軸対応

シェンケ クランピング システム

1. 注意事項
2. 概要
3. 仕様
4. 設置
5. クランプ幅の調整
6. シャフトの交換
7. シャフトの連結
8. メンテナンス部品



取扱説明書

取扱い、使用方法を誤りますと、思わぬ事故を起こしたり、製品の寿命を縮めたり、性能を低下させることになります。ご使用前には、必ずこの取扱説明書をお読みください。

1. 注意事項

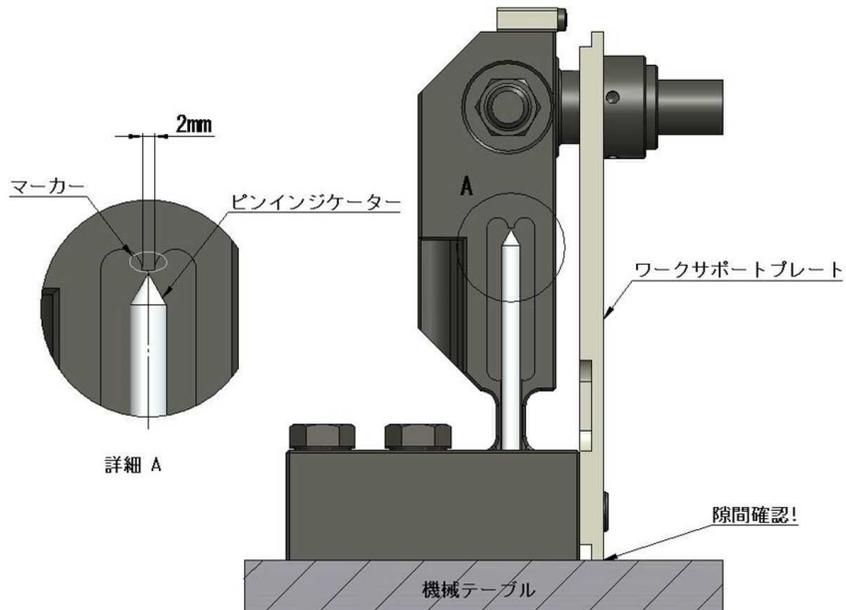
設置上の注意事項



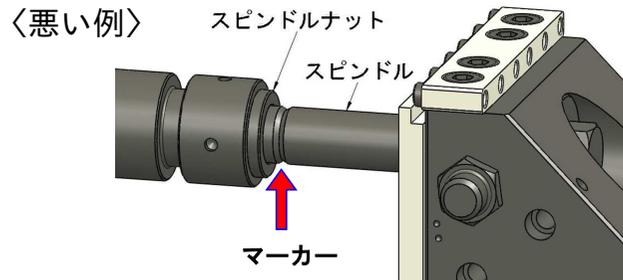
ワークサポートプレートと機械テーブルに隙間が無いか確認してください。

使用上の注意事項

- ・許容締付けトルクの120N・mを超えてご使用にならないでください。
- ・クランプ時、可動ジョーに設置してあるピンインジケータの先端が、マーカーからはみ出さない範囲でご使用ください。

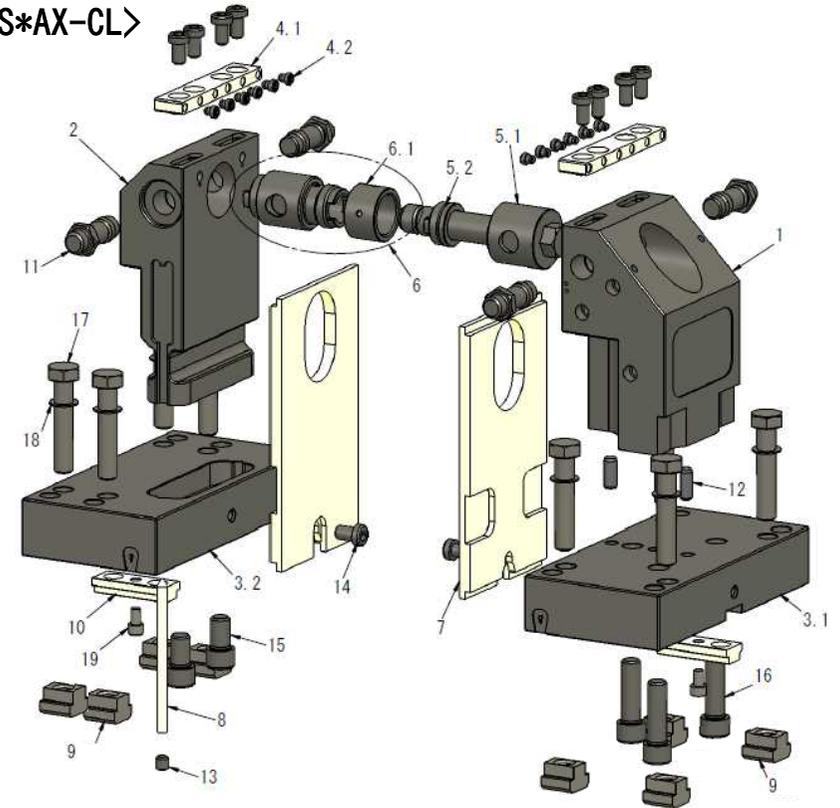


- ・スピンドルナットの端面が、スピンドルのマーカーを超えない範囲でご使用ください。



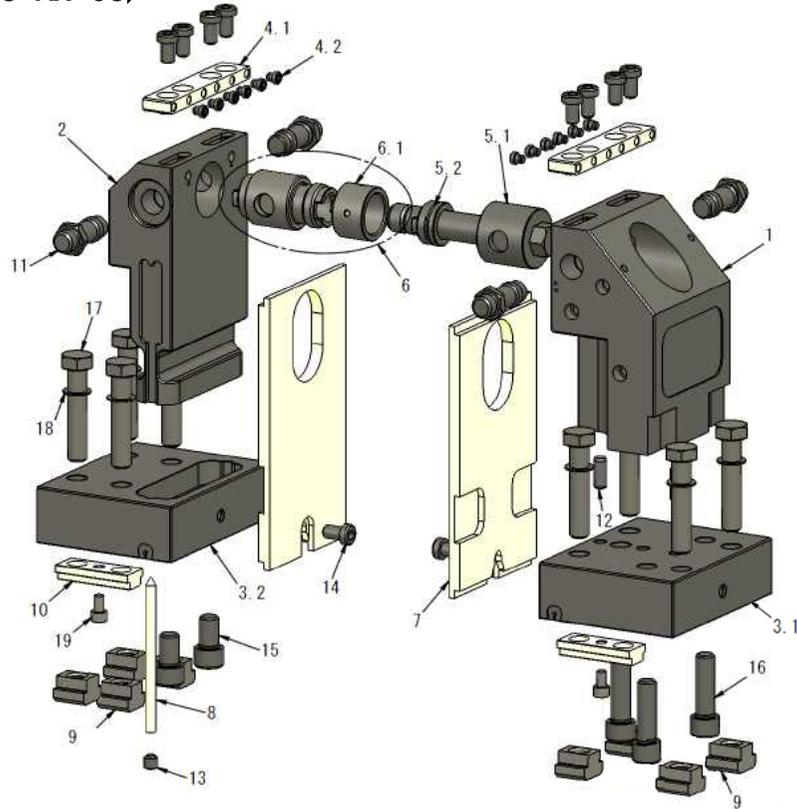
2. 概要

<SCS*AX-CL>



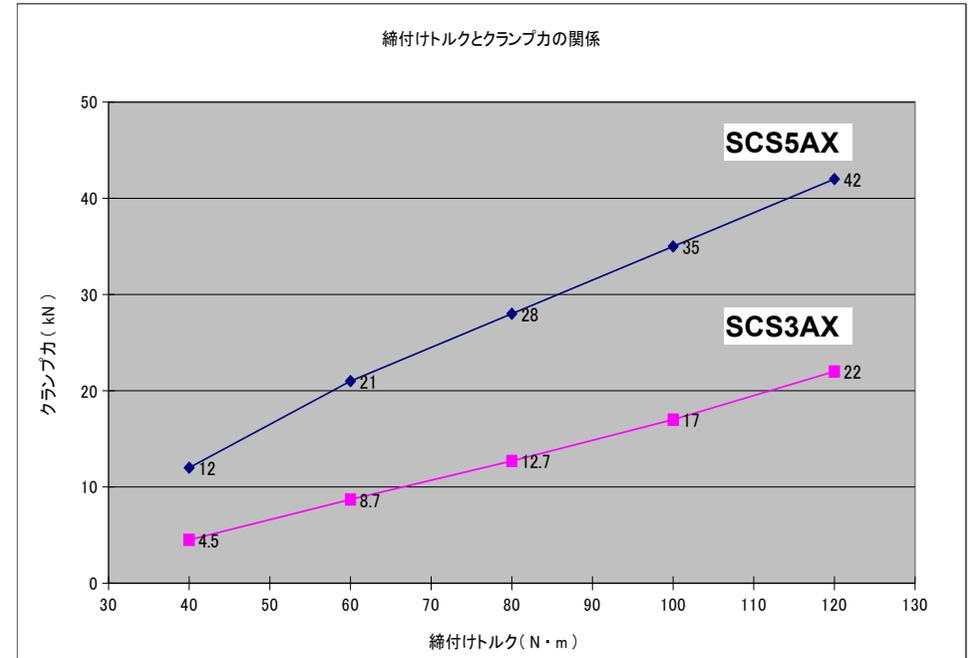
No.	名称
1	固定ジョー
2	可動ジョー
3	固定ジョー用ベース(3.1)、可動ジョー用ベース(3.2)
4	クランプジョー(4.1)、ピングリッパー(4.2)
5	スピンドル(5.1)、スピンドルナット(5.2)
6	シャフト60及びシャフト120(6)、キャップナット(6.1)
7	ワークサポートプレート
8	ピンインジケータ
9	Tスロットナット
10	ステップキー
11	特殊六角ボルト
12	平行ピン
13	六角穴付き止めねじ<M8x8>
14	低頭ボルト<M8x14>
15	六角穴付きボルト<M12x20>
16	六角穴付きボルト<M12x40>
17	六角ボルト<M12x60>
18	ワッシャー
19	六角穴付きボルト<M6x10>

<SCS*AX-CS>



No.	名称
1	固定ジョー
2	可動ジョー
3	固定ジョー用ベース(3.1)、可動ジョー用ベース(3.2)
4	クランピングジョー(4.1)、ピングリッパー(4.2)
5	スピンドル(5.1)、スピンドルナット(5.2)
6	シャフト60及びシャフト120(6)、キャップナット(6.1)
7	ワークサポートプレート
8	ピンインジケータ
9	Tスロットナット
10	ステップキー
11	特殊六角ボルト
12	平行ピン
13	六角穴付き止めねじ(M8x8)
14	低頭ボルト(M8x14)
15	六角穴付きボルト(M12x20)
16	六角穴付きボルト(M12x40)
17	六角ボルト(M12x60)
18	ワッシャー
19	六角穴付きボルト(M6x10)

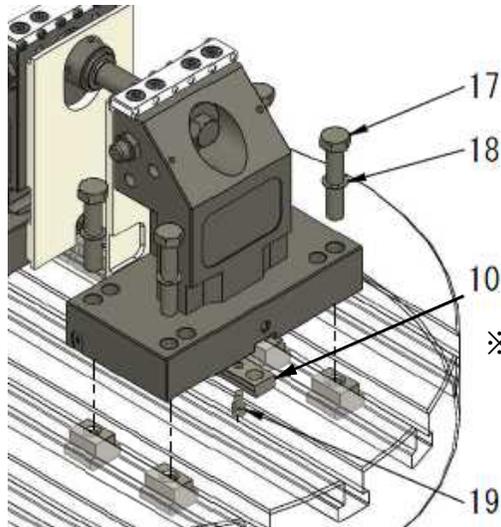
3.仕様



許容締付トルクの 120 N・mを超えないこと！

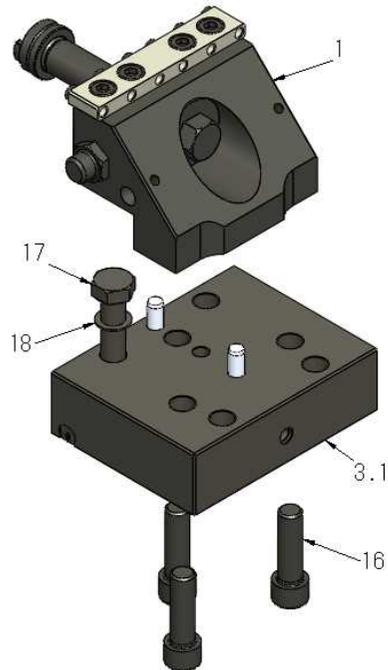
品番	SCS5AX-14CL	SCS3AX-14CL
	SCS5AX-18CL	SCS3AX-18CL
	SCS5AX-14CS	SCS3AX-14CS
	SCS5AX-18CS	SCS3AX-18CS
ワーク高さ	175mm	100mm
ジョーの幅	100mm	
クランプ力	42kN	23kN
クランプ幅(最小-最大)	22-236mm	

4. 設置



※注意
ステップキー (10) は、ベース底面の溝に挿入し、尚且つ六角穴付きボルト (19) にて固定してください。

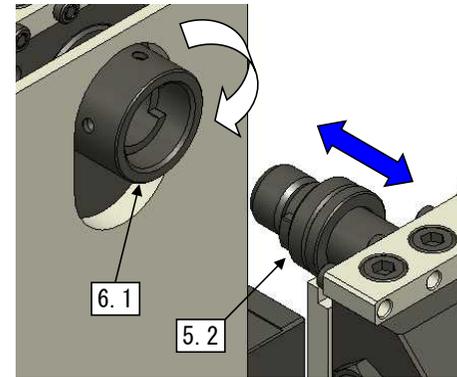
SCS3AX-14CS、SCS3AX-18CSについて



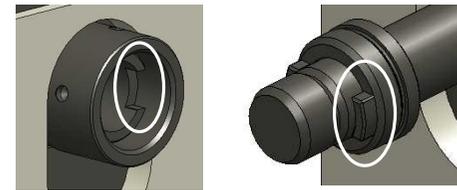
※注意
SCS3AX-14CS、SCS3AX-18CSを、T溝ピッチ63の機械テーブル、またはオプションのT溝プレートに取付ける場合、図示の位置へ六角ボルトを挿入する為に、ベース (3.1) から固定ジョー (1) を取外す必要があります。

(手順)
・六角穴付きボルト (16) を取外し、固定ジョーを取外す。
・図示の位置にワッシャー (18) を通した六角ボルト (17) を挿入する。
・固定ジョー (1) をベース (3.1) に取付け、六角穴付きボルト (16) で固定する。〈推奨トルク:120N・m〉

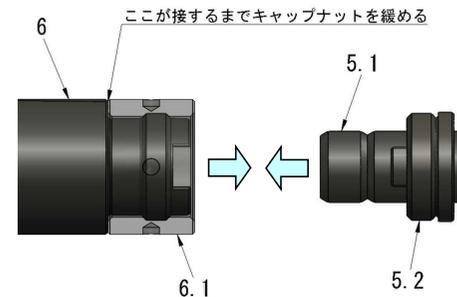
5. クランプ幅の調整



(手順)
・可動ジョー側の六角ボルト (17) を緩め、ベースがスライドできる状態にします。
(場合によっては、固定ジョー側も緩めます)
・キャップナット (6.1) を時計回りに回して緩め、スピンドルナット (5.2) から外します。
・スピンドルナット (5.2) を任意の位置まで移動させます。
◎スピンドルナットの位置でクランプ幅が決まります。



・シャフト (6) の切りかきとスピンドルナット (5.2) の突起が噛み合うようにスピンドルナット (5.2) の向きを調節します。
・ベースをスライドさせ、シャフト (6) とスピンドルナット (5.2) を接合させます。

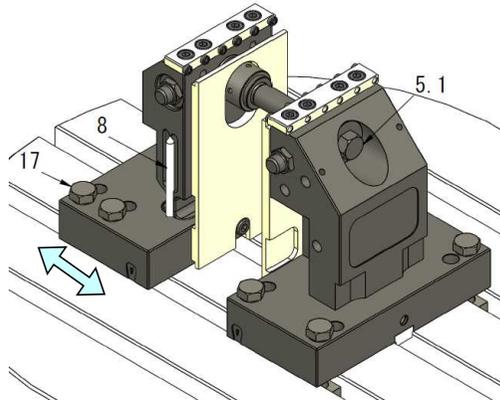


※注意
接合させる時はまず、キャップナット (6.1) を、シャフト (6) に接するまで緩めた状態にしてください。



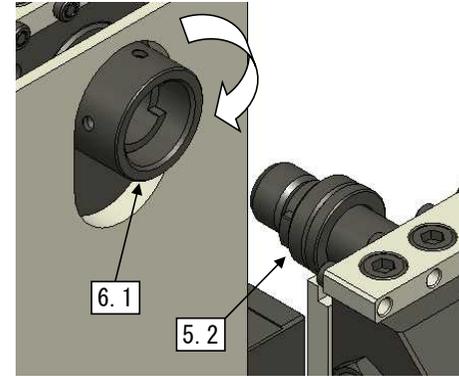
・キャップナット (6.1) を反時計回りに回し、スピンドルナット (5.2) に固定してください。
※注意
固定後、シャフト (6) とキャップナット (6.1) の隙間が10mm以内であることを確認してください。

6. シャフトの交換

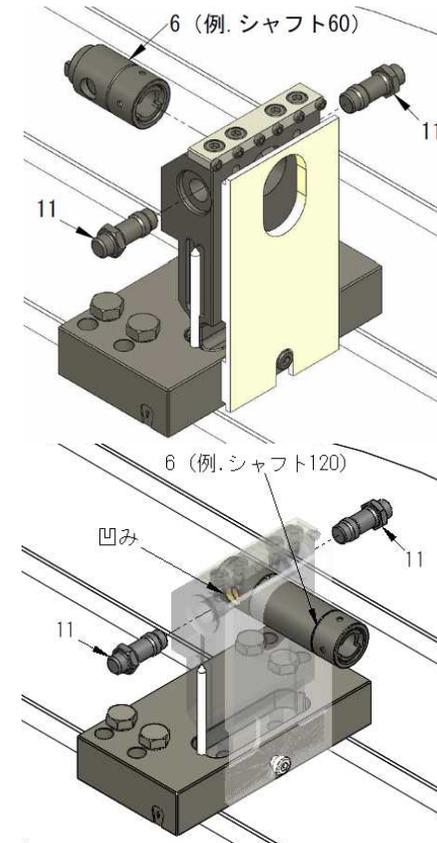


- ・スピンドル (5.1) の六角部を回してベースをスライドさせ、クランプ幅をワークの幅に合わせます。
- ※注意
クランプ幅は、ワーク幅に対して1mm以内で余裕をとってください。
- ・ピンインジケータ (8) の先端がマーカーの中央を指している事を確認し、六角ボルト (17) を締付け、ベースを確実に固定してください。

以上で、クランプ幅の調整が完了です。

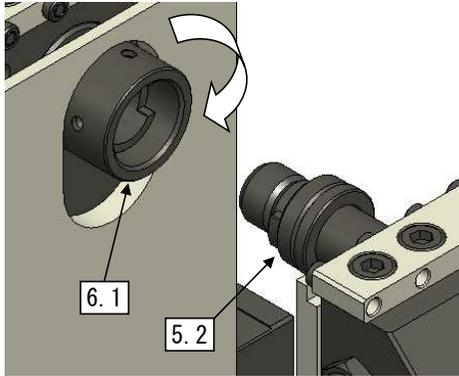


- (手順)
- ・可動ジョー側の六角ボルト (17) を緩め、ベースがスライドできる状態にします。
(場合によっては、固定ジョー側も緩めます)
 - ・キャップナット (6.1) を時計回りに回して緩め、スピンドルナット (5.2) から外します。
 - ・ベースをスライドさせ、シャフト (6) とスピンドル (5.1) を切り離します。

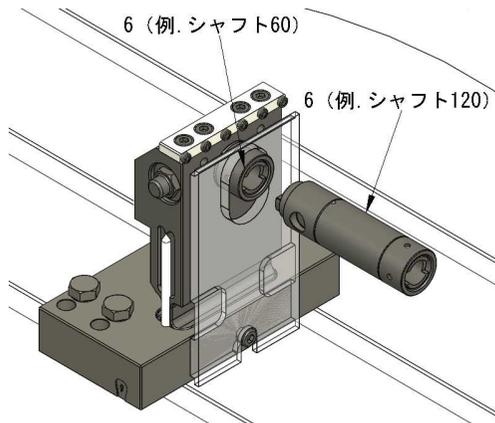


- ・可動ジョー側の特殊六角ボルト (11) を緩めて、外してください。
- ・シャフト (6) を取外す事が可能になります。
- ・交換するシャフト (6) をジョーの穴に挿入します。
- ・特殊六角ボルト (11) の先端部分がシャフトの凹みにはまる様に、特殊六角ボルト (11) を手でねじ込んでください。その後、レンチを使用して締付けます。

7. シャフトの連結



- (手順)
- ・可動ジョー側の六角ボルト (17) を緩め、ベースがスライドできる状態にします。
(場合によっては、固定ジョー側も緩めます)
 - ・キャップナット (6.1) を時計回りに回して緩め、スピンドルナット (5.2) から外します。
 - ・ベースをスライドさせ、シャフト (6) とスピンドル (5.1) を切り離します。



- ・既設のシャフト (6) の切りかきと、連結するシャフト (6) の突起が噛み合うようにし、接合させます。
- ※接合手順は、スピンドル (5.1) を接合させる場合と同様になります。
『5. クランプ幅の調整』項を参照してください。

8. メンテナンス部品

品名	品番	イメージ
シャフト60mm	SCS-SH060	
シャフト120mm	SCS-SH120	
ピングリッパー(リングタイプ)	SCS-PG400	
ボルトセット14mm	SCS-BS114C	
ボルトセット18mm	SCS-BS118C	
スピンドル	SCS-SP001	
スピンドルナット	SCS-SN002	
クランピングジョー	SCS-CJ008	
ピンインジケータ(5AX用)	SCS5AX-PI	
ピンインジケータ(3AX用)	SCS3AX-PI	